

沿岸海洋シンポジウムのお知らせ

沿岸海洋研究会では、下記のシンポジウムを開催します。多数の方々のご参加を期待します。

海洋前線と水塊形成

— 海洋前線の機能と役割に関する新たな理解に向けて —

主催：日本海洋学会沿岸海洋研究会

コンビーナー：磯田 豊（北大院・水産）、吉川 裕（九大・応力研）、郭 新宇（愛媛大・CMES）

日時：2012年3月26日（月） 9：30～15：00

場所：筑波大学第2エリア（会場未定）

会長挨拶（09：30～09：35）： 武岡 秀隆（愛媛大・CMES）

主旨説明（09：35～09：45）： 磯田 豊（北大院・水産）

1. 力学からみた海洋前線周辺の流れ 座長：郭 新宇（愛媛大・CMES）

1. 1. 沿岸・陸棚スケールと大洋スケールの海洋前線の違い

（09：45～10：15） 久保川 厚（北大院・地環研）

1. 2. 前線近傍で発生する上昇流と下降流

（10：15～10：45） 吉川 裕（九大・応力研）

— 休憩 —（10：45～10：55）

2. 大洋スケールの海洋前線 座長：吉川 裕（九大・応力研）

2. 1. “亜寒帯前線”周辺の水塊とその動き

（10：55～11：25） 須賀 利雄（東北大院・理）

2. 2. “亜熱帯前線”周辺の水塊とその動き

（11：25～11：55） 小橋 史明（東京海洋大）

— 休憩 —（11：55～13：00）—

3. 沿岸・陸棚スケールの海洋前線 座長：磯田 豊（北大院・水産）

3. 1. 大潮小潮に連動した密度流と“潮汐フロント”

(13 : 00~13 : 30) 郭 新宇 (愛媛大・CMES)

3. 2. 海面冷却で形成される水塊と“熱塩フロント”

(13 : 30~14 : 00) 秋友 和典 (京大院・理)

3. 3. 沿岸水と大洋水を繋ぐ“黒潮前線波動”

(14 : 00~14 : 30) 磯辺 篤彦 (愛媛大・CMES)

4. 総合討論 (14 : 30~15 : 00)